

検討組織等における質問・意見等

1 中学校完全給食推進本部

(1) 第 1 回（平成 28 年 8 月 23 日開催）

議題	中学校完全給食推進本部及び専門部会について／中学校完全給食について／今後の検討スケジュールについて
資料	中学校完全給食推進本部設置規程／中学校完全給食推進本部専門部会各課関連事項／中学校完全給食について／実施方式別学校給食実施状況（神奈川県：公立中学校数）／検討スケジュール（案）

【質問・意見等】なし

(2) 第 2 回（平成 28 年 9 月 26 日開催）

議題	検討状況について／各実施方式における新たな用地の必要性について
資料	各実施方式における新たな用地の必要性について

【質問・意見等（抜粋）】

- ・実施方式の決定について、推進本部も含め、教育委員会の権限と市長部局の関係を整理した方が良い。
- ・中学校完全給食を実施する際に、学校給食費については、小学校も含めて公会計化などどのような体制にしていくのか。
- ・センター方式や親子方式で実施する場合、工場扱いとなるため、用途地域について課題があるが、建築基準法第 48 条ただし書きの許可を得られる可能性はあるのか。
- ・建築基準法第 48 条ただし書きの許可は、公聴会や周辺住民への説明会が必要だが、臭いや食材搬入・配送の関係で車両台数が増えるという課題があるので、周辺住民の理解を得なければならない。
- ・センター方式は、学校への配送について交通状況や道路状況の検討が必要となるので、ある程度場所を想定したシミュレーションを行わないと進まないのではないかと。
- ・実施方式の検討にあたっては、将来的な学校の統廃合についての考え方を踏まえる必要があるのではないかと。
- ・実施方式は、どれか一つの方式を選ぶのではなく、併用という形もあり得るのではないかと。

- ・新しく調理能力の高い給食室を作り、古くなった小学校の給食室を廃止するような形も考えられるのではないか。
- ・最近、企業誘致の際などは、人手の確保が困難であるので、従事者が確保できるかについても検討する必要がある。
- ・近年、学校等の改修に伴い、防災収納庫の建替えを進めているので、自校方式や親子方式で増築等を含めて行う場合には関係してくる。

2 中学校完全給食推進本部専門部会（第1回：平成28年8月24日開催）

議題	中学校完全給食について
資料	中学校完全給食推進本部設置規程／中学校完全給食推進本部専門部会各課関連事項／中学校完全給食について／実施方式別学校給食実施状況（神奈川県：公立中学校数）／検討スケジュール（案）／中学校完全給食の実施方式について／横須賀市立中学校完全給食実施方式の検討に係る調査業務委託 概要／横須賀市立中学校完全給食実施方式の検討に係る調査業務委託 仕様書／中学校の昼食のあり方について（概要版）

【質問・意見等（抜粋）】

□調査委託について

- ・調査委託の仕様書には組み合わせ方式に関する調査は含んでいないが、どのように検討を進めるのか。
- ・施設整備の可能性に関する判定について、調査事業者に委託する部分と市で調査・判断する部分の考え方を教育委員会事務局で示してほしい。

□センター方式について

- ・センター方式の場合、給水や排水も大量になるので、建設場所の制約があることや十分な配水管の有無などが財政面に大きく関わってくる。
- ・センター方式については3箇所以上に建設することは想定していないのか。
- ・民設民営の給食センターはデリバリー方式になるのか。
- ・給食センターを近接する他の自治体に建てる可能性はないのか。
- ・センター方式の場合には、人口減も見据えて、小学校の施設建替えの際などに給食の提供を給食センターに吸収していくことも考えなければならない状況になるのではないか。

□親子方式について

- ・中学生が近隣の小学校に食べに行く場合には、給食にならないのか。
- ・親子方式で、小学校で作った給食は誰が中学校に届けるのか。例えば、諏訪小と常葉中ならば食べに行った方が早いのではないか。

□その他

- ・各実施方式による給食の質の違いについて、比較材料として考えた方が良いのではないか。
- ・消防設備は、学校施設を増築する場合、既存校舎にも影響が及んでくる。

3 教育委員会 9月定例会（平成 28 年 9 月 9 日開催）

報告	中学校完全給食実施に向けた検討状況について
資料	中学校完全給食実施に向けた検討状況について／中学校完全給食推進本部平成 28 年度第 1 回会議会議録／中学校完全給食推進本部専門部会平成 28 年度第 1 回会議会議録

【質問・意見等（抜粋）】

- ・学校給食の実施に関する権限が教育委員会にあることと推進本部で実施方式を決定することの関係性はどうか。
- ・臨時の総合教育会議を開催して決定するのはどうか。
- ・調査委託が入札不調になった理由はどのようなものか。
- ・連絡協議会に参画する教職員や保護者の人数はどのくらいか。

4 中学校完全給食実施等検討特別委員会（平成 28 年 9 月 14 日開催）

報告	中学校完全給食実施に向けた検討状況について
資料	中学校完全給食実施に向けた検討状況について／中学校の昼食のあり方について（概要版）／横須賀市立中学校完全給食実施方式の検討に係る調査業務委託仕様書／中学校完全給食推進本部平成 28 年度第 1 回会議会議録／中学校完全給食推進本部専門部会平成 28 年度第 1 回会議会議録

【質問・意見等（抜粋）】

- 親子方式の検討について（校舎の増床を伴わない改修を前提条件としていること）
- ・増床をした場合でも他の方式と比較して費用が安いことも考えられる。
 - ・親子方式の検討を制限することになってしまう。
 - ・教育委員会は、親子方式をやりたくないように見える。
- 調査委託について
- ・調査業務委託の最終報告では、客観的なデータが示されるだけで、メリット・デメリットを検討して、横須賀市で決定するということがよいのか。
 - ・受託者と横須賀市の打合せ内容についても特別委員会等で報告をすべきではないか。

- ・仕様書の中で米飯施設の設置や体育館等を給食室の候補から除外するなど細かい条件をつけない方が良い。
- ・調査委託で行うことと市で行うことの線引きはどうなっているのか。

□検討経過や説明資料の記載について

- ・議会からの指摘を以前から受けていたにも関わらず、検討してこなかったのだから、教育委員会の検討結果や総合教育会議での決定を受けてではなく、議会との約束をもって、実施方式の検討を行うと資料に記載すべきである。
- ・約束した時点で検討していれば、既に実施方式は決定していたはずなので、そういった認識を持つべきである。
- ・食缶方式に決めた理由がわかる資料を作成すべきであった。
- ・基本方針と行動計画の策定にあたって、保護者の意見を直接聴取した方が良かったのではないか。

□検討体制について

(推進本部関係)

- ・最終決定はどこが行うのか。
- ・最終的に市長決裁での決定であったり、議会での予算承認が必要となるなら、推進本部で方式を決定するという説明は間違いではないか。
- ・教育長がもっと重要な役割を担うべきではないか。
- ・推進本部の本部員のうち、給食とは直接関係のない部局長については、拘束される時間も負担になるので、構成を見直した方が良いのではないか。

(専門部会関係)

- ・現在参加している課以外にも、地産地消の関係で農林水産課、30年分の食数や運営費を推計するので都市政策研究所なども参画した方が良いのではないか。

(連絡協議会関係)

- ・保護者委員はどのように選出するのか。
- ・代表者以外の保護者にも情報が共有できるようにしてほしい。

(共通)

- ・推進本部、専門部会、連絡協議会について、会議を公開しないのか。
- ・推進本部、専門部会、連絡協議会の会議録を公開するのか。
- ・各検討組織の情報共有を直接行う機会を設けることが必要ではないか。

□検討スケジュールについて

- ・実施方式の決定までのスケジュールを示してほしかった。
- ・議会との約束があったにもかかわらず、これまで調査が遅れてきた分、スピード感を持って仕事をすべきである。

□給食の内容等について

- ・中学校給食を開始した際の食材調達をどのように考えているか。
- ・現在の小学校給食における地産地消の状況と推進についてどのように考えているか。
- ・小学校での食育はどのような状況か。
- ・小学校でのアレルギー対応はどのような状況か。

□その他

- ・専門部会において事務局が、自校方式に誘導しているような印象を受ける発言があったので、誤解を招かないよう注意した方が良い。